

第4回健康はこだて21次期計画策定委員会 会議概要

■ 日時 平成24年11月30日（金） 午後6時30分～7時40分

■ 場所 函館市総合保健センター2階 健康教育室

■ 会議内容

1 議事

- (1) 第3回健康はこだて21次期計画策定委員会 会議録（案）について
- (2) 市民の健康課題の選定について
- (3) 次期計画の目標設定の方法について
- (4) その他

■ 会議資料

- ・ 健康はこだて21改訂版
- ・ 平成23年市民の健康意識・生活習慣アンケート調査結果報告書
- ・ 統計でみる函館市民の健康状況
- ・ 第3回健康はこだて21次期計画策定委員会 会議録（案）
- ・ 健康はこだて21次期計画策定委員会委員名簿（平成24年11月30日現在）
- ・ 健康はこだて21最終評価（確定版）
- ・ 悪性新生物（がん）について
- ・ 市民の健康課題と取り組みについて（第3回委員会の意見より）
- ・ 健康はこだて21次期計画骨格素案

■ 出席委員（17人）

赤間委員，池上委員，宇山委員，川合委員，佐々木委員，鈴木委員，高橋（厚）委員，竹内委員，田中委員，田村（朋）委員，田村（政）委員，原崎委員，藤野委員，安野委員，柳原委員，山田委員，渡邊委員

■ 欠席委員（9人）

青山委員，阿知波委員，佐藤委員，菅委員，高橋（柳）委員，高谷委員，谷川委員，土川委員，宮川委員

■ 事務局職員

保健福祉部健康増進課 塚谷課長，三浦主査，天野主査，清水主査，久米田主査，橋本主査

■ 会議要旨

1 開会

塚谷課長

定刻になったので、第4回健康はこだて21次期計画策定委員会を開催する。

本日は、委員総数26名のうち17名の委員が出席の予定で、9名の委員が欠席するとの連絡があった。

会議の前に委員の交代を報告する。北海道栄養士会函館支部の推薦委員について、川村委員に代わり安野太氏が委員に就く。自己紹介をお願いする。

安野委員（※ 自己紹介）

塚谷課長

（※ 事前および当日配付資料の確認）

これより、山田委員長に議事の進行をお願いする。

2 議事

（議題（1）第3回健康はこだて21次期計画策定委員会 会議録（案）について）

山田委員長

本日は、前回の会議内容の確認と市民の健康課題の選定および目標設定の方法などについて、皆様の意見をいただきたい。

議題の(1)第3回健康はこだて21策定委員会 会議録（案）について、まず、前回委員から出された質問の回答などについて、事務局から説明をお願いする。

久米田主査

（前立腺がんについて、

- ・ 資料3 悪性新生物（がん）について を基に説明）

前回の配付資料「統計でみる函館市民の健康状態」の記載の内容について、本日配付の正誤表のとおり訂正をお願いする。

山田委員長

前回の会議で、委員から質問の前立腺がんについてと「統計で見る函館市民の健康状況」の訂正について、事務局から説明があったが、委員の皆さんから何か質問等はあるか。

意見が無いので、次に、前回委員会の会議録（案）については、事前に送付していたが、これについて、意見・質問等があるか。

私から一点、3ページの最後の発言者の山田委員を委員長に訂正をお願いする。

ほかに意見が無いので、第3回委員会の会議録として公開することについて、承認をいただきたい。

委員（異議なし）

山田委員長

承認をいただいたので、前回の第3回健康はこだて21策定委員会の会議録と

して公開する。

(議題 (2) 市民の健康課題の選定について)

山田委員長

次に議題の(2) 市民の健康課題の選定について、事務局から説明をお願いします。

久米田主査

前回の会議で、委員の方からの市民の健康課題と取り組みについての意見と意見から抽出したキーワードを、資料4にまとめた。

(資料4 に基づき説明)

山田委員長

事務局から説明のあった「市民の健康課題と取り組みについて」は、前回、委員の皆様からの意見を取りまとめたものだが、皆様から追加の意見、質問等はあるか。

前回欠席で、今回出席の委員の方に、今の市民の健康づくりの取り組みの問題点や感じていること、今後のどうすればいいのか等の意見を求める。田村(朋)委員からお願いします。

田村(朋)委員

私個人でいえば、運動から遠ざかっている現状であり、私の年齢層でも同じ状況だと思う。お酒を飲む機会も多く、食生活は危険な状態で、野菜等を意識していく必要を強く感じる。10年後、今の体型を維持するためには、運動は必要であり、それが健康課題である。

山田委員長

続いて、藤野委員にお願いします前に、田村(政)委員からの意見を認める。

田村(政)委員

それぞれの委員の街の身近には、児童公園、遊園地、小公園があるはずだが、その環境整備が立ち遅れている。多くの公園で、機能、価値が無く、遊休化している現況である。本来公園は、地域の遊び場、集まりの場、レクリエーションの施設で、健康づくりの拠点として捉えるべきである。例として本町の丸井の近辺の小公園は、うす暗く、樹木が茂って剪定されていない状態で、港まつりのとき以外は利用されていない。

子どもには遊び場がない。子どもの健康づくりを目指すため、健全なスポーツ、遊びのための環境づくりをする必要がある。地域の放課後子ども教室では、今月2回行ったが、在校生350人のうち自主的に70人が参加しており、子どもの遊び場であり、コミュニケーションの場である。

健康づくりの活動の拠点として地域の公園を清掃、整備すべきで、休日におじいさんやお父さんが子どもと遊ぶ場にすべきである。市内の赤川や港の子ども児童館には、体育館もあるが、市内25か所の児童館には、遊ぶところがなく、ただ集まるだけであり、そのような施設より自然の中で遊べる公園整備をするべきで費用も余りかからない。

山田委員長

子どもが遊べる広場的な場所が必要だとの意見をいただいた。
続きまして、藤野委員お願いします。

藤野委員

子どもも大切だが、大人への対策も必要で、スナックやキャバレーでは、たばこを吸うし、食べものが密接に関係していることから、現場で働いている女性を対象にして、医学の先生方による健康づくりや食事についての研修を行い、また対象の女性から意見を聴く場を設ける必要がある。研修後、スナック等のお客に対して、健康や食べ物についての話をしてもらうことで、健康づくりを進めることができる。食品に係る仕事に従事している方を対象に、この場で研修を行い、活かせるような計画を打ち出して欲しい。

山田委員長

それも検討してもらう。
渡邊委員お願いします。

渡邊委員

食生活については、計画どおり推進しない現状である。

私達団体では、小さい子ども、保育園、児童館、幼稚園で楽しく「食」について、遊びながら、入っていくことを目指して、10年後を楽しみに活動をする。

高齢者の低栄養も問題であり、きちんとした食事をしていない現状であり、特に女性は、1食をアンパン1個で済ませる時代であり、そういったことへの対策も考えて活動も行う。

山田委員長

今回新たに委員に就かれた安野委員お願いします。

安野委員

栄養士の仕事の立場からの話だが、栄養指導等では、本人だけでは難しく、家族全員を巻きこみ、健康意識を高めることが必要である。

山田委員長

池上委員お願いします。

池上委員

10年ほど前に、函館市PTA連合会の関係で、食のフォーラムを開催した。フォーラムの形式は、関係者も夢中でできるし、色々な方々と討論、話し合いができ有意義である。色々な年代、立場の方と話をし、話を聴けるフォーラムの開催について検討してほしい。

山田委員長

ほかに委員から意見等はあるか。

田村（政）委員

追加意見を述べる。

全市的に認知されているイベントは、港まつり、ハーフマラソン等あるが、そ

のような大規模でなく、中・小規模のイベントを千代台陸上競技場、香雪園、駒場のアイススケート場など野外でのイベント実施を考えて欲しい。そのことは、市民の健康づくりに直接・間接的に貢献するものである。知恵と工夫で、お金と手間をかけずにできる。イベントを実施することで健康づくりの推進を裏付けることになる。

これまでは、企画・計画だけで実践プランが欠けていたので、イベント開催を提案する。

（議題（3）次期計画の目標設定の方法について）

山田委員長

ほかに意見はありますか。

今回の意見と前回の意見を参考に、次期計画の健康課題や健康指標を選定したいが、これに関連して、次の議題(3) 次期計画の目標設定の方法について、事務局から説明をお願いします。

久米田主査

（健康はこだて次期計画の骨格素案および生活習慣に関する目標設定例について

- ・ 資料5を基に説明する。）

山田委員長

委員から意見を求める。まず、年代区分について、現計画は「0～14歳」，「15～39歳」，「40～64歳」，「65歳以上」としているが、事務局の次期計画（案）として、「次世代」，「働く世代」，「高齢期」としたことについて意見はあるか。

塚谷課長

今回3つに分けた考えについて、補足説明する。前回の計画では、年代の区分を年齢で分けており、例えば40歳～64歳は健診等（特定健診）の対象年齢で、65歳以上は高齢者の年齢区分となっていた。

それに対して、今回は「次世代」「働く世代」「高齢期」のゆるやかな設定の仕方とした。「次世代」は最近の言葉で、子ども未来部によると高校生の18歳くらいまでをさす。また、例えば、65歳でも介護が必要な方もいれば、80歳で元気な方もおり、いままでの「65歳以上」の括りですべての高齢者をまとめていいのかという意見もあることから、今回の「高齢期」というゆるやかな設定にした。「働く世代」については、前回の会議で委員からの意見もあったが、アプローチの仕方が難しい世代として位置付けた。幼児等は、親を通して、小・中・高校生は教育機関を通してアプローチでき、「高齢期」は自己の健康意識が高まっており、あとはどのように動くかであるが、「働く世代」は健康に対する意識が低く、たとえ意識はあっても仕事が忙しくて時間がなく、実行に移せない世代であり、市としても対応に苦慮している現状である。如何にこの「働く世代」の意識を高めていくかが、高齢期の健康を保てるかに通じるとの意見もある。

なお、この3つの分けは、仮置きであり、名称等の案の意見があれば受ける。

山田委員長

大きな括りにした説明があったが、これに対して意見はあるか。

赤間委員

高等学校の関係では、高校生の年齢は、15～18歳で、これまでの年代区分では15～39歳であり、当てはまらない項目もあった。小・中学校の区分（0～14歳）の内容に近く、その中の取組として、教育活動の中で「学校において、総合的な学習、学校行事、学校通信等で〇〇に関する健康問題を取り上げる。」等は高校も同じであり、小・中・高が共通であった方が良い。今回の「次世代」の区切りが実態に合った区分である。

山田委員長

今は、ほとんどの方が高校に進学されているので、この「次世代」の括りの方がいい。事務局案のこの3つの括り（「次世代」「働く世代」「高齢期」）でよろしいか。

委員（異議なし）

山田委員長

次に、年代別の目指す姿で、「次世代」の0歳～18歳についてどのようなことが考えられるか。前は、「外でたくさん遊び、良く食べ、よく眠る良い生活習慣を身につけよう」である。

佐々木委員に意見を願います。

佐々木委員

今の子どもは、運動能力が10年前と比較して低下している。統計的な数値で表れている。これは、保育園等では事故を恐れていることが影響している。全国的に3回病院に通院すると報告書を提出しなければならず、施設としては、思いっきり遊ばせることに躊躇している現状である。

東京江東区の小学校では血液検査を実施しており、これはメタボ対策の一環で、親に対する意識付けを目的としていると考える。

山田委員長

子どもの肥満については、これまで右肩上がりであったが、改善傾向にある。川合委員に目指す姿について意見を願います。

川合委員

前回の計画での目指す姿も0～14歳の区切りが大きく、ざっくり感がある。乳幼児期、学童期、中学、高校と目指す姿は微妙に違ってくる。

運動については、中学・高校は部活や体育の授業で行っており、体力づくりは教育活動中で取り組まれている。中学生で日常的に力を入れるのは、「早寝・早起き・朝ごはん」は当然指導しているが、「基本的な生活習慣をしっかり身につける」につくる。

山田委員長

高橋（厚）副委員長に小学生の目指す姿の意見を願います。

高橋（厚）副委員長

小学校でも基本的な生活習慣の育成のため「早寝・早起き・朝ごはん」を目標に進めている。体力づくりでは、歩くこと、徒歩通学を勧めている。

学校現場から、小学校だけではなくて、色々段階的に健康という広い意味で、薬物防止教室や性教育等を行っている。健康を広い範囲で考えるもっと项目的には有るのではないかな。

山田委員長

「早寝・早起き・朝ごはん」は、基本的に親が担当すべきで、何でも学校に丸投げになっているのが問題と考える。

ほかに、意見がなければ、前回の計画の括りである15～39歳の目指す姿「自分の健康を過信せず、健康管理をしっかりとしよう」のメッセージについて、田村（朋）委員お願いします。

田村（朋）委員

私自信このメッセージの自分の健康を過信して生活している現状である。

働く世代には、個人に対して訴えることも大切だが、職場への訴えを強化すべきだ。職場から健診等を受診するよう指導すれば、受診は進むはずだ。

山田委員長

働く世代に関して、竹内委員に意見をお願いします。

竹内委員

私の職場では、近年現役職員の2名が心筋梗塞で亡くなった。生活習慣病の発症予防は大切だが、重症化予防も徹底して行うべきだ。疾病が重症化すればこのようになる等の生々しい写真等を見せる機会を設けることは、必要であり、効果がある。

山田委員長

私の職場でも中間管理職の2、3名が生活習慣病で検査や入院している。生活習慣が影響して積み重なって、結果的に50歳で亡くなる人もいる。

赤間委員に意見をお願いします。

赤間委員

高校では小・中学生の取り組みを踏まえて、自ら主体的に取り組む態度を育てるとともに社会的な関わりの中で考え取り組んでいく必要もある。具体的には、薬物乱用防止や性教育を高校生に対してしっかりと教える必要がある。

山田委員長

次に65歳以上の目指す姿について、田村（政）委員に意見をお願いします。

田村（政）委員

私は日頃の活動で高齢者と付き合っているが、高齢者の方の健康への意識の低さを感じる。日々惰性の生活をしている人が多い。

65歳以上で元気な人は、パークゴルフをしている人で、朝から弁当を持って1日プレイしている。

市内の地区ごとに、健康づくりの拠点となる施設（有料のスポーツクラブ等）

の所在をもっと周知してほしい。私自身知らないなので、知ることにより、その施設を仲間と利用することもできるし、地域の皆さんに伝えることもできる。

山田委員長

田村（政）委員からは、健康づくりの環境整備、環境づくりが必要である旨提案いただいた。

原崎委員に意見をお願いする。

原崎委員

函館市の人口の割には、スポーツクラブは多い。これまで、テオーが開業し、その後、時任町のペアーレ、保健センターの増進センター等が供用している。

スポーツクラブに通える人とそうでない人がいる。スポーツクラブの利用者は毎日、朝から夕方まで運動している人、午前中、夜だけの人など色々と、数も多いし時間も長い。

町会館で行う運動教室は、月に1、2回の開催で、内容としては自宅でできる運動を教えている。回数が少ないので受講者は、真剣に受講し、いつでもできるという気持ちではなく、質が高い。

活動的な人は、スポーツクラブへ行くし、クラブ等を利用しない人は、身近でできる体操を行えばいいし、ウォーキングマップを活用していい、町会の運動教室を実践する等でいい。しかし、その事業を知らない住民もいるので広報に努める必要もある。

山田委員長

年代別の目指す姿の意見をいただいたが、全体を通しての意見は有るか。

ないようですので、次回までに、この時期計画の素案をさらに事務局でまとめ、あらためて協議するということでいいか。

委員（了承）

（議題（4）その他）

山田委員長

議題(4) その他、委員から何かあるか。

委員 なし

山田委員長

事務局から何かあるか。

塚谷課長

次回の委員会は、来年の2月中旬を予定しており、本日の会議録を12月中に各委員あてに送付する際に、日程を知らせる。

次回の委員会まで1か月以上空くことから、今回の会議録を正副委員長の承認後、委員に送付し、その後公開する。

確認事項で、会議の開会時間について、現在午後6時30分からであるが、他の市の会議は午後6時の開会が多いが、委員の皆様の意見を伺いたい。

山田委員長

会議の開会時間ですが，このまま午後 6 時 3 0 分でいいか，それとも 3 0 分早めて午後 6 時とするか，委員の意見はあるか。

田村（朋）委員

私個人としては，仕事の関係で午後 6 時からだと出席は難しい。私の関係の会議は午後 7 時が多い。7 時からの開始だと終了が遅くなるので，このまま 6 時 30 分を希望する。

山田委員長

午後 6 時を希望する委員はいるか。
現状の午後 6 時 3 0 分からの開会とする。

3 閉会

山田委員長

これをもちまして，第 4 回委員会を終了する。お忙しいところ出席いただきお礼申し上げます。